



▲災害時の安全対策委員会による啓発の様子



▲防災劇の様子



▲地域訓練の様子



3月17日(日)に市民運動広場で平成30年度松原市防災総合訓練が開催され、災害時の安全対策委員会において、家具転倒防止対策、感震ブレイカーの周知やタオル運動・両隣声かけ運動、避難行動要支援者制度、防災士について説明したパンフレットを配布するな

ど啓発活動を実施しました。当日は、ブース出展した関西電力株式会社などと連携し、感震ブレイカーのサンプルキットを用いた周知啓発を行いました。当日はあいにくの天候となりましたが、多くの市民の皆さんが来場し、

## 松原市防災総合訓練で啓発活動を実施

▼問合せ 危機管理課



「SCマンスリーまつばら」は、世界基準の安心・安全なまちづくりセーフコミュニティについて知っていただくための連載です。

防災のためのさまざまな体験をしました。  
※感震ブレイカーとは震度5強以上の揺れを感じし、自動的にブレイカーを落として電気を止める装置です。  
また、市民運動広場の会場訓練に先立ち、市内22の全小中学校において地域訓練が行われました。訓練の開始を知らせるサイレンを合図に避難経路の確認訓練が行われ、多くの市民の皆さんが避難するとともに、避難した小中学校では、地域の自主防災組織が主体となった毛布担架作成訓練や防災井戸の操作体験が行われました。

告知!

新たに100台

自動通話録音装置を貸し出します

自動通話録音装置とは着信時に犯罪行為を抑止する音声流れ、通話を自動録音する装置です。警告音声と自動通話録音による被害防止が期待できます。自宅の電話機に工事不要で簡単に設置できます(装置を設置するにあたり、電源が必要となります)。

申し込みについては広報まつばら5月号で詳細を掲載します。

▶対象 市民の世帯で、65歳以上の方が1人以上住んでいて、装置設置後のアンケート調査に回答できる人

▶問合せ 産業振興課

